

第 61回 日本親子読書センター夏のつどい



すべてのこどもたちに 読書のよろこびを

心を交わしあう親子読書

日本親子読書センターは、子どもの本をとおして、文庫・図書館・学校などで活動している方、また、子どもの本に興味のある方を支援している団体です。年1回、講演・実習・情報交換の会を開いています。どなたでも参加でき、子どもたち(年少～中学生)の分科会もあります。

日時：2025年7月27日(日) 10:00～16:00

会場：三鷹市市民協働センター 2階 第1会議室

東京都三鷹市下連雀 4-17-23 JR 三鷹駅南口徒歩 15 分(バス便あり)

10:15～(受付開始 10:00)

大人が楽しむ
おはなし会

子どもの部屋 (年少から参加可能)

本のプレゼントあり♪

大人とは別室で工作や本読みを楽しみます

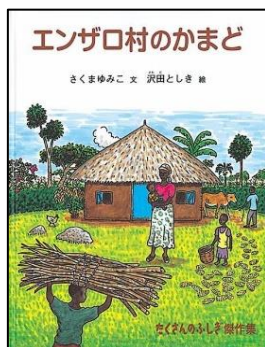
13:15～(受付開始 13:00)

講演 「本を窓にして世界をみる
—アフリカの本の紹介も併せて—」

講師 さくま ゆみこ さん

翻訳家

日本国際児童図書評議会前会長



『エンザロ村のかまど』(たくさんのふしぎ傑作集)
さくまゆみこ/文 沢田としき/絵
福音館書店 2009年

世界各国の優れた絵本、児童書を多数翻訳されているさくまさんに、子どもの本がもたらす力について、そして本を手渡す大人の役割についてお話を伺います。また、アフリカ子どもの本プロジェクトから見えること、アフリカの文化や子どもの日々を伝える本も紹介していただきます。

主催：日本親子読書センター

後援：(一社)日本子どもの本研究会
親子読書地域文庫全国連絡会



午後の講演のみ 後日配信あり

大人が楽しむおはなし会



普段は子ども向けのおはなし会でやっている昔話や創作の物語の「語り」を大人の方に楽しんでいただく会です。
一緒におはなしの世界を旅してみませんか？

講演会

◇この講演は 後日配信もあります。

講演：「本を窓にして世界をみる ーアフリカの本の紹介も併せて」

さくま ゆみこ さん（翻訳家 日本国際児童図書評議会前会長）



〈プロフィール〉

東京都生まれ。翻訳家。訳書は絵本からYA小説、研究書まで250点を超え、産経児童出版文化賞大賞、日本絵本賞翻訳絵本賞、IBBYオナーリスト・JBBY賞など受賞多数。著書に『エンザロ村のかまど』（福音館書店）他、翻訳作品に「クロニクル千古の闇」シリーズ（評論社）、「リンの谷のローワン」シリーズ（あすなろ書房）など。アフリカ子どもの本プロジェクト代表。日本国際児童図書評議会（JBBY）前会長。長野県在住。

	内 容
10:00	受付開始 開会 オープニング行事 大人が楽しむおはなし会 2階 第1会議室
11:40	昼食タイム（各自で食事）
13:00	代表あいさつ オープニング行事 講演：「本を窓にして世界をみる ーアフリカの本の紹介も併せて」 講師：さくまゆみこ さん 休憩 質疑応答
15:30	閉会の集まり 参加者感想 子どもの部屋の報告等 子どもたちが合流
16:00	閉会・解散

※昼食は会場内に持ち込みできます。

※スケジュールは変更になることもあります。当日資料集でご確認ください。

子どもの部屋

年少から中学生まで参加できます

10:00	親と一緒に受付 オープニング行事のあと、先生と一緒に 子どもの部屋へ移動 先生と工作をしたり、本読みを楽しもう。
11:40	昼食(おとなと一緒に食事)
13:00	午前の続きの工作、本のプレゼント 片付け 閉会の集まりに合流 子どもの部屋の報告
16:00	閉会・解散

工作したい

作ったおもちゃ
で遊んだい

絵本やおはなし
を楽しんだい

学年の違う子どもたちが集まって、専属の先生とかつて参加者だったお兄さんお姉さんたちと一緒に過ごします。ものづくりの先生が準備から完成まで丁寧に指導。周りの子どもたちもいつのまにか協力して自分だけの作品が完成。絵本読みやおはなしも楽しめます。

参加した子どもたちには、本のプレゼントがあります！



〈2024 年 夏のつどい 子どもの部屋の様子〉



< 日本親子読書センターの紹介 >

1967 年(昭和 42 年)設立。東京都小金井市の教員による親子読書の会が 5 年の歳月をかけてセンターを発足しました。創設者代表は斎藤尚吾。当時の活動目標は、

- ①親子読書を広め深める。
- ②どの子にも楽しい読書の場を保障するため、文庫をつくる・図書館などの読書環境整備の運動を興す。
- ③未来をつくる子どもたちに良い本を出合わせる。子どもの本と生活を研究する。というものでした。

56 年目の今年も創設の精神を受け継ぎながら、子どもの本に関わる活動をしている方々を支援するため、「夏のつどい」開催、機関誌による情報交換を行っています。

『子ども文庫の 100 年』みすず書房 2018 年刊 『生きるための図書館』岩波新書 2019 年刊に、当センターが紹介されています。

年会費 2,000 円 機関誌『つうしん』年3回発行

夏のつどい参加の際に入会すると会員価格で参加でき、今年4月発行の機関誌『つうしん 21 号 夏のつどい準備号』を当日お渡しします。『つうしん 23 号』には夏のつどいの報告を掲載します。

申し込み方法

日本親子読書センターホームページから

「会場参加」「後日配信」「両方(会場参加と後日配信)」のいずれか選んでください。

センターホームページの〈夏のつどい申し込みフォーム〉から申し込みをお願いします。申し込み後、〈参加費振込先〉へお振込みください。振込をもって受付完了となります。

※「後日配信」「両方」を申し込みされた方には、締切日以降に、視聴用 URL、視聴期間(概ね2週間の予定)等 詳細をメールでお知らせします。

《子どもの部屋》(年少～中学生)(定員10名先着順)

大人と一緒に申し込み。子ども単独では申し込みできません。子ども参加者には追ってハガキで詳細を連絡します。昼食時以外は大人と別々に「子どもの部屋」で活動します。子どもは保険をかけます。(参加費保険料込)

本のプレゼントがあります！

参加費	会場参加(A)	後日配信(B)	両方(A+B)
会 員	2,000 円	1,000 円	2,500 円
会員外	2,500 円	1,500 円	3,500 円
子ども	2,000 円		

受 付 開 始:4月30日から
会場参加締切:6月30日まで
後日配信締切:7月15日まで
会場定員100名(会員優先、先着順)

〈参加費振込先〉

郵便振替 口座番号 00170-2-37386

加入者名 日本親子読書センター

他の金融機関からの振込 銀行名:ゆうちょ銀行 金融機関コード:9900 店番:019 預金種目:当座
店名:〇一九(ゼロイチキュー店) 口座番号:0037386

※入会して参加する場合は、年会費 2,000 円を一緒に振り込んでください。会員価格で参加できます。

※振込み後のキャンセルは手数料を引いて返金します。当日キャンセルは返金できません。

【日本親子読書センター会員の方へ】

機関誌『つうしん』に同封の郵便局払込取扱票での申し込み方法については、「つうしん(第3期 21号)」7ページに掲載しています。詳しくはそちらをご覧ください。ホームページ申込フォームからでも申込みができます。

(バスのご案内／小田急バス)

JR 三鷹駅より

三鷹駅より約1km／徒歩:約15分

②番のりば 調布駅北口(鷹56)行き

八幡前・芸術文化センター前下車 徒歩5分

③番のりば 深大寺・神代植物公園前行き

⑤番のりば 国際基督教大学・調布駅北口

武蔵小金井駅南口・大沢・大沢十字路行き

⑦番のりば 仙川・晃華学園東・新川団地中央行き

八幡前下車 徒歩3分

京王線 調布駅より

⑫番のりば 三鷹駅行き

八幡前・三鷹芸術文化センター前

下車 徒歩約5分

京王線 仙川駅より

①番のりば 三鷹駅行き

八幡前下車 徒歩約3分



※三鷹市市民協働センターへのご来館は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

【問合せ・申し込み】

日本親子読書センター

<https://oyakodokusyo.org>



←アクセスはこちらから